

ながはま



市

議

会

だより

Vol.4

平成19年1月15日発行  
発行：長浜市議会  
編集：議会だより編集委員会

あけまして  
おめでとーございませす

1月10日～3月11日まで慶雲館、浅井ふれあいの里・プラザふくらの森で開催される盆梅展

常任委員会報告	2 頁
主な質問事項と答弁内容	3～7 頁
議案等審議結果・編集後記	8 頁

# 委員会報告

## 湯田小学校改築へ

総務教育常任委員会

当委員会に付託を受けた議案は、補正予算、条例関係、湯田小学校改築工事にかかる工事請負契約についてなど七議案であり、慎重な審査の結果いずれも承認・可決すべきものと決しました。

補正予算の主なものとして、教育費では、「子どもを犯罪の被害から守る条例」の具現策として、幼稚園へのフェンス設置・整備を順次行うものなどです。

条例関係のうち「長浜市副市長の定数を定める条例の制定」につきましては、地方自治法の一部改正に伴い、四月より助役に代えて、副市長を置くことに伴うものです。

審査前には現地視察を行い、びわ学校給食センターの重油流出事故にかかる油の回収と処分状況などについて説明を受けました。市民への不安、環境に及ぼす影響等が大きいため、敷地外へ影響が及ばないような対策を最優先するとともに回収対策を徹底し、随時報告をするよう申し入れました。



湯田小学校完成予定図

## 放課後児童クラブ充実に向けて

健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、十一議案であり、慎重審査の結果いずれも可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算の民生費では、新たに北郷里小学校に放課後児童クラブを設置するにあたっての施設整備費用や、安全安心のまちづくりの一環として市内三保育園にフェンスを設置するといったものがあります。

衛生費では、太陽光発電システム設置にかかる奨励補助金を増額するものです。

びわ診療所廃止条例については、地域の医療機関の充実、受診者・診療報酬の激減の現状から、国民健康保険運営協議会の「公設診療所の目的は達成された」とする答申を受け、可決すべきものとしました。

平成二十年度から七十五歳以上の後期高齢者を対象とする新たな医療保険制度の運営に向け、県内全市町で構成する後期高齢者医療広域連合を設置するものです。

委員会審査に先立ち、びわ診療所とフェンス設置予定の北保育園の現地視察を実施しました。



放課後児童クラブ

## 駅周辺の整備と大通寺公園整備へ

産業建設常任委員会

当委員会に付託を受けた議案は、平成十八年度長浜市一般会計補正予算他三議案です。

審査前に水道水濁水問題が発生した川道町地先の川道水源、整備予定の大通寺公園他二か所の現地視察を行い、状況を確認いたしました。

補正予算の主な内容は、地域農業担い手支援事業に千三百十八万円、道路新設改良事業に六千八百万円、大通寺公園整備事業に二千六百万円、長浜駅周辺整備事業に一億四千四百万円等、安全安心のまちづくりに、また市街地再生に関する重要な案件を慎重に審査し、いずれも全員一致で可決すべきものと決しました。

平成十八年度長浜市びわ水道会計事業補正予算（専決処分）七千万円は安全安心の水道水の確保のために必要なものであることから、全員一致で可決すべきものと決しました。

平成十八年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算、長浜市長浜水道企業団規約の変更のいずれの議案も、全員一致で可決すべきものと決しました。



整備予定の駅西ロータリー

# 個人質問

長浜病院の抱える課題・問題

長浜病院の抱える課題・問題について

問 長浜病院のあるべき姿と現在抱えている課題・問題について問う。

答 高度医療の提供。二次救急医療機関として体制充実。生活習慣病等の予防医療の推進。このよう

な当院の課題に加え、医師・看護師不足、医療制度改革による病院経営への影響も懸念されます。

今後、医師確保、徹底した費用削減と収入の確保地域との連携を深め活力ある病院を目指します。

地域医療推進対策について

問 地域における医療の役割分担について問う。

答 病診連携として、紹介患者数は十五年に比して二・三倍と大きく前進しています。病病連携も脳梗塞等、地域連携クリニカルパス（診療の基準となるスケジュール表）作成等で進んでいます。

問 行政における地域医療支援について問う。

答 来年度を目標に湖北

武田 了久議員

医師会や病院等の医療関係機関等からなる委員会等で計画策定が進められています。地域医療の課題解決が図れるよう関係機関に働きかけます。

びわ北・南幼稚園の跡地有効利用

びわ北・南幼稚園の跡地有効利用について

問 現園舎の跡地をコミユニティセンターや多目的運動施設等で有効活用を図ることについて問う。

答 地域が主体的に活動していただける「地域づくり」を進めており、こうしたことを踏まえ関係者の皆様と十分協議を重ねます。

長浜市税・料金未納（滞納）対応について

問 財政が厳しいおり、市税等の未納額が約十億円を超えている。今日までの対応と法的措置を含めた今後の対応を問う。

答 これまで様々な対策を講じ、今年度は市内に二十二班からなるプロジェクトチームを編成し、徴収強化を図っています。法的措置も視野に入れ、引き続き債権の確保に全力を挙げています。

JR北陸線のダイヤ編成対応について

問 利用者の立場に立ったダイヤ編成に改善することについてを問う。

人権教育・啓発の考え

人権教育・啓発の考えについて

問 第三回定例会の答弁で、同和問題の早期解決、

「同和問題は存在している」と答弁しているが、同和問題は終了し、女性・子ども等、全てを意味する人権問題となつて

いる。市民が誤解するような発言、言葉は止めるべき。

溝口 治夫議員

西尾 孝之議員

問 同和問題は「人権教育・啓発に関する基本計画」の中でも重要課題の一つとして位置付けられている事から考えを述べたもので、今後検討します。

財政問題について

問 市民の要望に、予算がないということだけで終っていないか、また、財政の見直しを進めるべき。

答 同和問題は「人権教育・啓発に関する基本計画」の中でも重要課題の一つとして位置付けられている事から考えを述べたもので、今後検討します。

新長浜市の運営

一体感をもてるような市政運営について

問 市民が一体感をもてるような市政運営についてを問う。

答 各地域特有の歴史や伝統を大切に、市全体の広域的な魅力を高めていきます。また、市職員においても全市的視点に立った人事配置を行う等、市の均衡と一元化に向けた市政運営を進めます。

公民館単位のまちづくりについて、今後の具体的な方向についてを問う。

答 自治会との連携を軸に公民館区域をひとつの

き。

答 義務的経費の増加により財政構造の硬直化が進んでおり、「施策の集中と選択」を徹底するとともに、行政コストや人件費の削減等、次の世代に責任の持てる財政構造に努めます。

阪本 重光議員

地域と捉え、「組織・体制づくり」「地域づくり計画」等、計画に基づく実践という方向で、必要に応じて人的、財政的支援を行います。

納得できる将来への投資、施策について問う。

答 財政の健全化を維持しつつ、施策の選択と集中、予算の重点化による市政運営が必要と考えます。必要施策については、実施時期を逸することなく、市民の皆さんに、充分な説明責任果たし、思い切った施策を展開していきます。



長浜市の税制

田中 伝造議員

長浜市の税制について

問 土地の鑑定評価方法の公平性及び、滞納者の徴収率について問う。

答 各土地の鑑定評価方法は一定の補正率を乗じて算出された額で、県内のバランスを踏まえた、公平公正な額です。滞納者に対する徴収率は、十月末現在で八・八九％です。

下水道処理施設について

問 農村下水道区域での大規模な住宅開発に対する処理施設の補完工事及び、農村下水道の流域下水道への接続について問う。

答 大規模な住宅開発による農村下水道への接続は困難なため、公共下水道、合併浄化槽での対応となります。流域下水道への接続は、行う計画ですが、時期は検討中です。

県審議会が示した湖北地域合併構想について

問 湖北地域合併構想について、市の方向性を問う。

答 県審議会が一市六町の合併の組み合わせを示されました。「湖北はひとつ」との思いは変わっており、関係町から正式な話が来たときは、前向きに対処する考えです。

## 教育課題の 解決に向けて

青木 甚浩議員

**北郷里小学校体育館の設計について**

**問** 小中学校の体育館の規模は、児童生徒数により基準があるが、地域事情や複合施設として設計すべき。

**答** 来年度改築に向け準備を進めている北郷里小学校の体育館を地域の社会体育の振興や、避難施設としての役割も重視し、検討します。



**スポーツ強化費及びスポーツ振興基金条例の制定について**

**問** 種目目標を設け、スポーツ強化予算とすること及び、スポーツ団体の育成、施設整備等を目的とした「スポーツ振興基金条例」の制定について問う。

**答** 十七年度から強化が必要な団体等を支援しており、今後は、競技団体等の要望を聞き、検討します。また、スポーツ振興計画策定の中で条例も検討します。

**いじめ問題について**

**問** 学校でのいじめの把握、実態状況、対策について問う。

**答** いじめに関する報告を学校に求め、指導してはいますが、今後は、学校の体制強化、指導の徹底、学校訪問を実施し、家庭、地域、学校が連携し、市民をあけての解決を図ります。

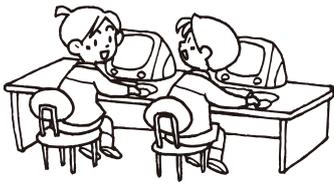
## 教育委員会の劇的改革

押谷 友之議員

**教育に徹した組織に**

**問** 学校教育に対する国民の関心が高まっている中、教育委員会の指導力が問われている。文化、スポーツ、生涯学習と所管する分野が多いが、何も教育委員会でなければならぬ理由はない。教育委員会は学校教育のみ徹してはどうか。

**答** 現在、教育、文化、スポーツ等幅広い分野を統括する教育委員会が、学校教育分野に特化でき



るよう、機構改革を進めていくことも一つの考えです。行革の一環として、教育委員会の組織改編も含め、市長部局と連携して考えていきます。

**病院をめぐる諸問題について**

**問** 四千万円もする医療機器が、わずかな期間しか使われず放置されていると聞く。経営が厳しい中、どうなっているのか。

**答** パーキンソン病の手術ため購入したものが、一年後に医師が退職してからは、後任の医師が使わなくなった事が原因。十四年以後、病院全体の経営効果や使用頻度等、院内委員会で審査し、このような事がないよう努めています。

## 市の教育と介護予防

脇阪 宏一議員

**長浜市の教育について**

**問** 「保幼小中一貫教育」の推進についてを問う。

**答** 中学校区ごとに生徒指導・食育等の研修を小中連携して行っているが、保幼小中の全面的なプログラムは持っていません。

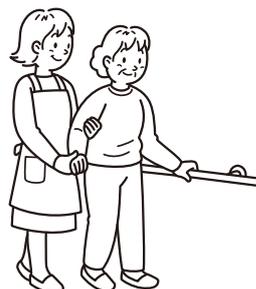
**問** 旧浅井町五つの小学校を二校への統合についてを問う。

**答** 学級編成替えが出来る学校規模は小学校の大事な環境設定ですが、一方で学校と地域が一体となった取り組みが進められてを問う。

**「介護予防」について**

**問** 「寝たきりゼロのまち」を目指す介護予防計画についてを問う。

**答** 運動機能向上サポートを指導しながら、身近な自治会レベルでトレーニング教室が活発になることを期待すると共に、積極的に取り組みます。



## 保育の充実を求めて

秋野 久子議員

**希望者全員が入園できる受入れ態勢について**

**問** 保育園入園申し込みが定員を三百名も超えている中、待機児童を出さない取り組みについてを問う。



**答** 定員の弾力的運用や保育室改造、定員増加等により保護者の希望に配慮して受け入れに努めます。

**問** 幼稚園の保育時間延長預かりについてを問う。

**答** 浅井幼稚園が実施している預かり保育を市全体で考え実施していきます。

**問** 来年から学童保育が六年生までに拡大されるが、教室や指導員確保等十分な受け入れ体制についてを問う。

**答** 入院、通院をわけての実施や段階的拡充等も含め、子育て支援策の一つのメニューとして総合的に検討していきます。

## びわ地区路線バス赤字対策

寺村 正和議員

いじめ問題に関する現状と対策について

スクールカウンセラー

と心のオアシス相談員の現状と効果について問う。

継続的な支援活動の結果、不登校傾向の解消が三十件、教室復帰の児童もあり、学校現場で大きな役割を果たしています。

## 観光都市「長浜」の推進

山口 忠義議員

観光長浜の施設整備について

観光客の駐車場不足に対する不満が多い。現状の駐車場の能力はどうか。

観光繁忙期は港湾の空き地、小堀や列見、市役所職員駐車場等を臨時駐車場として開設し、一時的な需要に対応していきま

す。

今後の駐車場整備計画はどうか考えているのかを問う。

教員の生徒に対する観察力、指導体制が欠ける面はないか。

学校の指導体制の点検・強化、教員のスキル向上を図ります。

北陸新幹線米原ルート実現について

地域発展は、交通網の整備にあります。北陸新幹線米原ルートの実現についてを問う。

北陸新幹線は、新たな湖北時代をきりひろく大きなチャンス。地域の皆さんと議論を深め、誘致に積極的に取り組んでいきます。

びわ地区路線バス赤字対策について

びわ地区路線バスの赤字対策について問う。

利用者の減少が顕著となつていきます。代替交通手段の導入も含め検討します。

## 市庁舎建設計画

吉川 富雄議員

市庁舎建設計画について

建設計画を早期に取り組むとともに、庁舎建設構想策定委員会を設置すべきではないか。

市の広域的な都市発展の方向性や財政事情、市民のコンセンサスが必要であり、委員会設置については、建設に向けた環境が熟成する中で検討します。

子ども虐待予防、防止対策について

虐待予防、防止策はどうなっているのか、また、虐待の報告はあるのか。

## 「養魚場整備と「いじめ」根絶

竹内 達夫議員

養魚場整備事業について

草野川養魚場事業は水利問題、採算の面で見通しのない事業であり、五千万円近くもの公費投入は許されない。きつぱりと中止すべきと思うが考えを問う。

水利権の取得について、県の指導を仰いだり、許可まで複数年かかるため、この養魚場事業を実施

することは大変困難です。行政改革について

行政改革の名のもとに十年間で市職員を百八十五人以上削減する計画は市民サービス低下にならないのか。

行政の規模と範囲を見直し、小さな行政組織でも、市民満足度の高いサービスが提供できる体制への転換を進めます。

## 行財政改革と持続的農業対策

茂森 伍朗議員

行財政改革の策定について

財政構造の改革や、職員削減等をどの様に進めようとしているのか市長の見解を問う。

行政改革の基本的な方向性や具体的な手法を示す「行政改革大綱」及び推進計画となる「集中改革プラン」を年内にまとめ、施策の「選択」と「集中化」により、まず徹底した行政のスリム化を図っていきます。

長期間未使用財産の活用について問う。

市が所有する普通財産の内、土地は約二十三万七千

いじめの根絶について

教育基本法改正は、子ども「いじめ」や「自殺」に逆行する内容となっていないか。

いじめや自殺は、国民誰もが根絶を願う深刻な社会問題です。教育基本法は、現在国会審議されており、緊急の課題として、いじめの根絶に全力をあげなければなりません。

産は、三万六千 です。今後、公共事業として活用されない物件の内、住宅として売却可能な状況にある財産は、順次売却等の活用を行い、新たなまちづくりのための財源確保に努めます。

持続的農業対策について

今後の持続的な農業対策の取り組み方針についてを問う。

担い手育成の中で営農団体の組織化を進め、農協等関係機関と連携し、新たな視点に立ち地域農業の活性化に努めます。

## 花火陣屋保存

野村 俊明議員

花火陣屋の保存について

文化財として、花火陣屋をどう考えるか。

市内及び近隣地域に伝承されてきた「花火の陣屋」という貴重な文化財に誇りを抱いて守り、また、まちづくり等に大いに活用していく必要があります。

広域にわたる伝統文化の伝承事業実施について、基金設立の考えを問う。

## 対策と 保険証の個人カード化

北田 康隆議員

獣害対策について

浅井地区では、従来からのサル、イノシシ被害に加え今年クマの出没が多く、住民は不安な日々を過ごしております。

市民の生命及び財産を守ることは行政の義務であり、手段として浅井地区すべての山に電気柵付の防護フェンスを設置することについて問う。

電気柵付きの防護フェンスは、有効な手段だと考えております。しかし、県補助事業が一部地域に限定されることから、地域の方々の協力により原因を取り除き、追い払い

## 駅周辺整備事業

吉田 豊議員

長浜駅周辺整備事業と駅前通り沿線整備について

新駅舎をどの様な機能特性をもたした駅として位置づけるのか。

「ひと、まち、歴史や長浜文芸会館、長浜城歴史博物館、曳山博物館など、ご指摘の伝統文化財の周年展示の方法、また、基金についても検討していきます。

新駅周辺をどの様に整備されるのか。

駅周辺整備基本方針に基づき、二十年度を目標として順次工事を進めます。駅前都心の機能を高め、潜在力を活かした都市整備を促進します。

## 危機管理体制

北川 薫議員

危機管理体制について

びわ学校給食調理棟重油地下流出事故に伴う状況とその対策について問う。

敷地内十一か所の試掘を行い、多量の地下滞留と思われる箇所より、ポンプアップし、重油を含む油水一万五千三十三リットル、重油汚染土類二万七千九百六十を回収処理しています。外部に影響を及ぼさないように完全に遮断し、関係機関と協議の上、復旧対策を検討します。

びわ地区上水道濁りにかかる対応と対策について問う。

## 0次予防の取り組み

東野 司議員

長浜市役所の組織機構とメンタルケアについて

部長級の職員数が増加し組織全体の中でバランスを崩しているのではないかと問う。

合併後、部長級をはじめとする管理職が増加している為、今後組織機構の見直しと併せ、適正配置に努めてまいります。

0次予防の取り組みについて

0次予防をとおして、長浜市及び、参加した市民にはどのようなメリットがあるのか。

参加者への直接的なメリットとして、血液や尿等から遺伝子解析以外の検査結果を活用して自身の継続的な健康管理に役立てられます。本市へ

市道相撲出口線の通学道路の安全対策について問う。

養蚕の館、長浜西幼稚園が完成し通園通学の歩行者や自転車も多い状況であり、今後、安全な道路整備が急務であり地域と連携し、安全な道づくりを目指します。



## 障害者自立支援制度

浅見 信夫議員

障害者自立支援制度および住宅リフォーム助成制度について

問 障害者自立支援法による応益負担で、しょうがい者を取りまく環境は大変厳しいものとなっています。これを改善するために県の補助事業である「緊急特別対策事業」の市での一刻も早い実施について問う。

答 県の事業は、1利用者負担の軽減、2事業所の報酬額の加算、3作業所への補助が主なもので、

## 農業に対する現状と支援施策

伊藤兵一郎議員

農業に対する現状認識と農業支援施策について

問 今後の基幹農業者数の予測を問う。

答 二十七年には三割程度減少する予測です。

問 担い手のみで、市の農業は維持していけるのか。

答 「経営所得安定対策等大綱」の三本の対策を推進し、本市農業が継続して発展できるように努めます。

問 政府の農家対策は、

市ではこれを受けて適用を十月から具体的な実施のための準備を進めています。

問 住宅リフォーム助成制度は経済波及効果が大きく、事業者、地元商店・市民の制度に期待する声も強い。制度存続についての市の見解を問う。

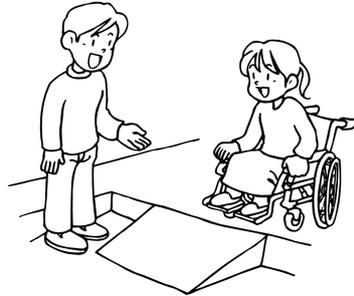
答 来年度以降、事業目的の地域経済振興に加え、今日の政策的課題に対応できる新しい形での事業展開を考えています。これまでに引き続き住宅改修を対象としながら、

小規模農家、兼業農家の意欲を失わせる施策ではないか。

答 本市農業は、多くの小規模な農家や兼業農家によって守られてきた事を認識しています。担い手対策の要件を満たさない農業者については、当分の間、産地づくり対策の中で助成されます。

問 担い手農家への所得補償は機能するのか。又、米価が漸減傾向の翌年、大幅減となった場合はど

1安全・安心な暮らしへの対応、2伝統的な技術の継承、3景観の保持と形成という目的を付加した内容で事業を実施してまいります。



うか。

答 最低価格が補償されていないことを懸念しております。政府は「市場のシグナルは大切、消費者ニーズに合わない農産物に支援できない」との見解です。



## 就学前の教育保育のあり方と災害対策

福永 利平議員

就学前の子どもに対する教育、保育のあり方について

問 幼児期における指導、支援の重要性とその認識、行政組織の一本化、又、幼保両園の職員の人数は適正かについて問う。

答 幼児期は人間形成の基礎となる重要な役割を担う時期と認識し、機構改革の中で一元化を検討し、職員の充実も図ります。

## パブリックコメントの条例化について

林 多恵子議員

パブリックコメントの条例化について

問 市民の意見、情報の求め方や条例化について問う。

答 情報を広く公開、提供し、市民の意見や知恵を施策に反映することは重要であり、これまで各部署で個々に行ってきた手続きを統一的な基準として全市的に取り組むため、要綱としてスタートしましたが、条例化に向けて制度充実に努めます。

問 自殺対策基本法をうけ当市の対応について

答 自殺は個人の課題として捉えるだけでなく、

災害対策について

問 防災行政無線の修正増設、災害用濾水機の管理状況、災害弱者に対する対応について問う。

答 防災行政無線は可能な修正等を検討し、災害点検を実施、未設置の地区にも順次整備、災害弱者には関係機関が一体となり支援体制の整備を図ります。

教育施策について

問 いじめについて、市としての対応について問う。

答 各校区において「いじめ対策協議会」を立ちあげ、家庭、地域、学校が協議し、いじめ根絶に向けて地域ぐるみの対策を進めます。

問 自殺対策基本法をうけ当市の対応について

答 自殺は個人の課題として捉えるだけでなく、

長浜新川について

問 本川計画の現状と都市計画決定がなされない理由、現右支川に第二大井川をショートカットした時、対応可能か。

答 本川計画の必要性等理解を願っております。引き続き一層の理解を得て測量、計画決定へと努力します。又、右支川は断面不足が生じるため対策を講じます。

就業や経済等の要因も踏まえて、社会的な取り組みとして実施すべきです。県等関係機関と連携強化し、自防止対策に努めます。



臨時会（十月二十七日）

議 案

第三百三十五号 工事請負契約について

可決（全員）

第四会定例会（十二月）

議 案

第三百三十六号 専決処分事項の承認を求めるとについて

承認（全員）

第三百三十七号 平成十八年度長浜市一般会計補正予算（第五号）

可決（多数）

第三百三十八号 平成十八年度長浜市国民健康保険特別会計補正予算（第三号）

可決（全員）

第三百三十九号 平成十八年度長浜市介護保険特別会計補正予算（第二号）

可決（全員）

第三百四十号 平成十八年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第三号）

可決（全員）

第三百四十一号 平成十八年度長浜市病院事業会計補正予算（第二号）

可決（全員）

第三百四十二号 長浜市副市長の定数を定める条例の制定について

可決（全員）

第三百四十三号 地方公営企業法の規定を適用する事業の出納その他の会計事務及び決算に係る権限を助役に行わせる条例の一部を改正する等の

可決（全員）

条例の制定について

可決（全員）

第三百四十四号 長浜市監査委員条例の一部改正について

可決（多数）

第三百四十五号 長浜市職員の特種勤務手当支給に関する条例の一部改正について

可決（全員）

第三百四十六号 長浜市診療所条例の一部改正について

可決（全員）

第三百四十七号 長浜市放課後児童クラブ条例の一部改正について

可決（全員）

第三百四十八号 長浜市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

可決（多数）

第三百四十九号 長浜市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

可決（多数）

第三百五十号 滋賀県後期高齢者医療広域連合の設置について

可決（多数）

第三百五十一号 湖北地域消防組合規約の変更について

可決（全員）

第三百五十二号 長浜水道企業団規約の変更について

可決（全員）

第三百五十三号 損害賠償の額を定めることについて

可決（全員）

第三百五十四号 工事請負契約について

可決（全員）

諮 問

第七号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

可と答申

（全員）



新年あけましておめでとございます。心より、新春のお慶びを申しあげます。

さて、昨年は何ともやりきれない事件、事故などがこれでもかと続きました。いじめ、少年少女たちの自殺、北朝鮮の核実験、イラク戦争の泥沼化、相次ぐ知事の不祥事等々・・・。

これだけ続けば暗澹たる思いです。中でも、北海道夕張市の財政破綻は、私たち議会人としても他人ごとでは済まされない重い出来事でした。次々に大金をつぎ込んでの観光による地域活性化策など、一時、地方都市のお手本のように持て囃された果てに「虚飾の繁栄」破綻をきたしました。この事実が明らかになって、「監査委員や、夕張市議会は何をチエックしていたのか!」と浴びせられた市民の罵声は、私たちにもズシリッと重く押し掛かってきました。これを他山の石とし、八万市民の皆様が目となってしっかりと議会の役割を果たして参りませう。

最後に二〇〇七年が皆様にとって輝かしい年となりますようお祈りしつつ、新年第一号発行のご挨拶といたします。

（ながはま市議会だより 編集副委員長 押谷友之）

長浜市議会は、この「ながはま市議会だより」を始め、インターネット上で「ライブによる議会中継」や「ホームページ」により、開かれた議会を目指しております。ぜひご覧いただきますようよろしくお願い致します。

一般質問の録画映像についてはインターネットで見ることができます。

<http://www.discussvision.net/nagahamasi/index.html>